

第4回 上質な寄港地観光の造成に向けた意見交換会概要

(コスタ・クルーズ社)

○ コスタ・クルーズよりアジアでの戦略と日本の寄港地に求めることを説明。

- コスタ・クルーズは日本発着クルーズと中国発着クルーズ、2種類のクルーズを運航している。
- 寄港地のプロモーションに活用できる画像、映像を求めている。既存のものでいいので、寄港地ごとの観光パンフレットがあれば船内に設置出来れば乗客の関心も引けると考えている。
- 各寄港地のリピーターが増加している。リピーター向けに、特徴的、コアな寄港地観光の提案が、小ロットでも出来ると望ましい。
- 中国発着、日本発着、どちらもファミリー層が非常に多いブランドである。子供が喜ぶような寄港地観光の提案と一緒に考えていけると望ましい。子供たちが各寄港地で楽しく遊べれば、家族も嬉しくリピーターになる。
- 中国の旅行会社を想定しているが、寄港地と共同して寄港地観光をプロモーションしていくというのが、もしできれば行ってきたい。ショッピングだけのツアーというのが体験を下げているという認識は持っている。

○ 当日プレゼンテーションを行った各港（金沢港、舞鶴港、高知港、広島港）からは庭園や伝統工芸、城郭、豊かな自然風景、世界遺産を堪能出来る魅力的な寄港地観光プランについて提案がなされた。